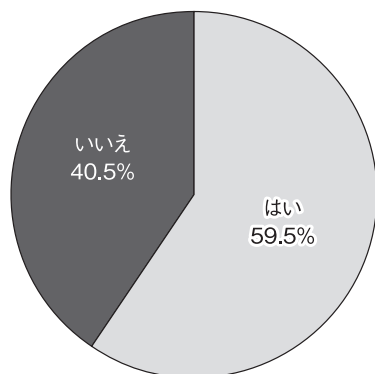


奨学金制度の認知度

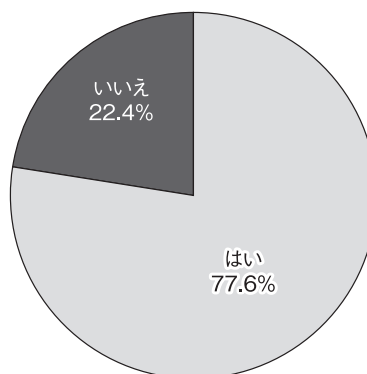
問23-3 この制度の事はよく知っている【日本学生支援機構の“貸与型”奨学金】

問24-3 この制度の事はよく知っている【本学独自の“給付型”奨学金】

【問23-3】



【問24-3】



【基数：対象者全員】

半数以上の大学院生がいずれの奨学金制度を「よく知っている」と回答

それぞれの奨学金制度に関して「制度の事をよく知っているか」と調査したところ、「はい」と答えた大学院生の割合は、『日本学生支援機構の“貸与型”奨学金』で59.5%、『本学独自の“給付型”奨学金』で77.6%であった。

学部生における調査結果と比較すると、大学院生の方が「はい」と答えた割合が高く、『日本学生支援機構の“貸与型”奨学金』で17.7ポイント、『本学独自の“給付型”奨学金』では54.4ポイントも上回る結果となった。

問24-1（受給状況）及び問24-4（関心度）の結果からも見て取れるように、大学院においては過半数の大学院生が“給付型”の奨学金を在学中に利用しており、関心度も非常に高いことから、制度についての認知度も高いものと窺える。

しかしながら、問24-1（受給状況）において「申請していない」大学院生で「制度をよく知っている」と回答した大学院生の割合が、「受けている（受けたことがある）」大学院生と比較すると大きく下回っており、周知が不完全なことも事実であると読み取れる結果となった。